



特定医療法人
アガペ会



日本医療機能評価機構

第JC423号 認定病院

2020
118
印



アガペ会理念

アガペに生かされ、アガペに生きる

わたししがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい（聖書 ヨハネ福音書13章34節）

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- ・一般病棟
- ・回復期リハビリ病棟
- ・認知症治療病棟
- ・特殊疾患病棟
- ・認知症デイケア あしゃぎ
- ・認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- ・入所療養介護
- ・短期入所療養介護
- ・若松苑デイサービス

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

- | | | |
|----|----------------------|----------------|
| 3F | サービス付高齢者住宅 アガペファミリー | ☎/098-935-4165 |
| 2F | 住宅型有料老人ホーム ケアホーム アガペ | |
| | ファミリーデイサービス アガペ | |

- 1F ファミリークリニックきたなかぐすく
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

- 通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

- 訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

- 訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

- ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

- ケアプランステーション ゆい
☎/098-935-3066 · 098-935-5968

- 地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093

クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地1 (1F)

☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホームわかまつ

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 418-2
☎/FAX/098-935-1021

グループホーム若松 ぎのわん デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城 1-20-6
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま 新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<http://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

若松だより 第118号



新型コロナ感染

がんのリハビリテーション	1
シマクトウバ あれこれ ~診療の現場から~	2
こころのサプリメント・安定と不安定	3
Medeical Healthy Recipe・夏バテ予防に!! アセロラ	4
小規模多機能ホーム若松ぎのわん	5
家族もチーム医療の一員	6
介護老人保健施設 若松苑 理念	6

発行：2020年7月1日

特定医療法人 アガペ会 〒901-2395 北中城村字大城 311 電話 098 (935) 2277





Wakunami's Voice

新型コロナ感染

若松苑施設長・理事長
涌波 淳子

4月より若松苑の施設長を兼務する事になりました。医師業務は2階荒井先生、3階山入端先生、堀川先生と経験豊かな先生方に委ね、私はもっぱら管理業務及び関係機関との連携構築を行っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、1月16日に日本で最初の新型コロナ感染症の患者さんが確認されてから、あれよあれよという間に日本国内に感染が広がり、ここ沖縄県においても2月14日に初発患者さん、そして、最終的には142人の発症者があり、7名の方がお亡くなりになりました。

新型コロナ感染症に関して、別紙にまとめました。感染対策上、特に難しいのは、多くの人が免疫を持たず、感染したことに気づかないまま日常生活をおくり、なんらかの症状が出た時には既に周囲の方々にうつてしまっているという事です。誰もが感染者になる可能性があり、感染源（他の人にうつす）になる可能性があるという事です。それを防ぐためには、マスクと手洗い、換気、人と人との間隔（ディスタンス）が最も大切と言われています。しかし、医療や介護においては、患者さんや療養者に触れない事は非常に難しく、患者さんから医療者への感染、あるいは医療介護スタッフから療養者への感染を防ぐことは非常に困難で、全国では100以上の医療機関、介護施設で集団感染がおこっており、どの病院も施設も危険と隣り合わせの状態だと言えます。

アガペ会では、職員の日々の健康管理、感染対策教育、多くの方が触れるドアノブやテーブルなどの頻回な消毒、徹底した換気、そしてご家族の皆様にご協力をいただきての面会制限、通所系の利用自粛など考えられる限りの感染対策を行いました。そして今、第2波に備えて、療養者間の距離の確保やパーテーションの設置、医療材料の確保等を行っております。第一波においては、皆さまのご協力により多くの療養者、利用者を感染からお守りする事ができ、感謝するとともに、終末期等人生の大切な時期に、ご家族との面会を制限せざるを得なかった事を大変申し訳ないと感じております。

政府は「新しい生活様式」への転換を勧めています。アガペ会においても集団としての感染防止をし、「身体的距離」を意識しながらも「心」はしっかりと寄り添って、療養者・利用者とそのご家族の皆様が幸せに生きられる「新しい」医療と介護をめざしていきます。世界中が初めて経験する状況で、予測も対策の正解も不透明な中ですが、みんなが正しい知識と愛の心で、お互いを大切にしていく事が必要だと思います。皆まと一緒に「新しい医療と介護の在り方」を模索し続けますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

がんのリハビリテーション ～多職種で希望を支え続けるために～

亜急性期リハビリ課 副主任 町田 恵美

1981年以来がんは死因の第1位を占め、2019年はがんによる死亡総数38万人と年々増加傾向にあります。2015年1月から北中城若松病院第1病棟でがんのリハビリテーション（以下がんリハ）を開始し、現在まで90名の患者様が退院されました。

その中の一人である私の義父は4年前多発性肺癌・肝癌のため当院でがんリハを実施しました。本人にがんの告知後、精査・治療はしないという看取りの方針で入院しました。本人は「ぜんざいが食べたい」「中身汁が食べたい」「小さい頃に過ごした楚辺に行きたい」「孫にマッサージしてもらいたい」と、たくさんのお話をしてくれて、この1つ1つを叶えるために医師、看護師、栄養士、歯科衛生士、相談員、リハビリと多職種のスタッフが関わってくれたおかげで、病前の頑固で短気な義父の姿を垣間見ることができました。また今まで自由奔放に生きてきた義父の口から妻への謝罪や家族への感謝の言葉も聞くことができ、葬儀後、家族や親戚からは「若松病院で最後を迎えることができて良かった」と言ってもらいました。

現在、病院で亡くなる方は8割、その中でもがんの患者様の終末期は4つの苦痛を抱えていると言われています。

- ①痛み等の身体的苦痛
- ②不安・孤独感等の精神的苦痛
- ③経済的・家族関係による社会的苦痛
- ④生きている意味への問いや、なぜ自分がこんな目に合うのかと言った靈的苦痛
(スピリチュアルペイン)

があります。この様々な苦痛に対して医療従事者は悩んだり・戸惑ったり・ケアへの困難感を感じています。

当院では、スタッフカンファレンスを毎月1回、ターミナルカンファレンス、エンジエルカンファレンスをその都度開催し、本人・家族・スタッフの情報共有や医療スタッフの不安を軽減する取り組みをしています。また、昨年は新城医師による「せん妄に関する事」、長濱チャップレンによる「がん患者とのコミュニケーション」という勉強会を開催しました。

私達は、人生の終焉を迎えようとしている終末期の患者様と向き合っていくため、多職種みんなで知識を深め技術の向上を目指していきます。そして、それぞれの職種の専門性を理解し協力しながらチーム力を発揮していきたいと思います。



孫がマッサージしている写真です

医師エッセイ⑥

シマクトウバ あれこれ ~診療の現場から~

北中城若松病院 副院長 喜屋武 幸男

グスヨー チューウガナビラ 4月から北中城若松病院に赴任しました喜屋武と申します。前任地は那覇市立病院で呼吸器内科医として勤務しておりました。仕事柄、高齢の患者さんを診察する機会が多かったので、時々シマクトウバを交えながら和やかな雰囲気の診療になるように心掛けました。お年寄りが入院した時などは新しい環境で緊張していることが多いのですが、シマクトウバはそのお年寄りの心をリラックスさせる効果があり、会話がはずみ、逆に私達の方がお年寄りから学ばせて頂くこともたくさんありました。そんな中で、心に残った出来事を幾つかご紹介します。



ウキミソーチー (お目覚めですか?)

朝の回診の時の挨拶によく使いました。笑顔で「ウー」とか返事をして頂けるとこちらも嬉しくなります。ある日、品のあるご老女にご挨拶したところ、「先生、それは ウキミセービィティーとおっしゃるべきですよ」とたしなめられました。いわば「お目覚めになられましたか」といった意味の最上級の敬語だと思います。改めてシマクトウバの奥深さと気高さを教えて頂きました。



イー ウァーチチ デービル (いいお天気ですねー)

天気のいい日にこの挨拶をしますと、患者さんも窓から空を見上げる様にして「そーねー」とか言って笑顔になってくれますし、その後の診察も楽しくなります。よく呼吸器科医数名での回診をしておりましたが、その仲間に東京生まれ、ウチナームーク(沖縄に来た婿)の若手指導医がいました。感心したことには彼は沖縄出身の研修医達よりも遙かにシマクトウバを大事にしてくれて、私が使う言葉もうまく取り入れながら上手に使いこなしていました。ところがある日、ちょっと肥満気味のおばあちゃんの診察の時に大きな澄み切った声で「ワー イイチチ デービル」と言って満面の笑みを浮かべていました。私は慌てて「君は何を言っているんだ!」と聞くと「先生の真似をして使ってみました」とにっこりとしているので、その大変な間違いを指摘しました。幸いそのおばあちゃんはきょとんとして、何を言われたか分からぬ様子で事なきを得ましたが、言葉は十分に理解して正確に使うことの大切さを思い知らされた出来事でした。今では愉快な思い出の一つです。



ヒヤークマディ チバイミソーリヨー (百歳まで頑張って下さいよ)

診療の最後をこの挨拶で締めくくると 大抵のお年寄りは嬉しそうに微笑むか、中には「アッサ先生よ、ヒヤークまで生きたら大変よ~」と大笑いする方もいました。ある日、いつものようにこの言葉で締めくくりましたところ「先生、私はもうヒヤークよ~」と返され、慌てて「ヒヤクニジュー マディ チバイミソーリヨー」と言い直しました。幸いご本人も周囲も大笑いをしてくれました。今では百歳前後の高齢者の方も多く、その後からは十分に注意して言葉を選ぶ様にしています。

沖縄の高齢の方々はあの悲惨な戦争を乗り越え、戦後の混乱のなかで子育てをしながら社会を支えて下さった方々ですので、せめてその老後は穏やかなものであって欲しいと思います。そこで何かお年寄りが喜びそうな素敵なシマクトウバがありましたら、私にご教示下さい。これからもシマクトウバを大切に使いながら一緒に診療・介護を楽しんでいきましょう。

安定と不安定

チャップレン室 田中 歩美

沖縄の代表歌「ていんさぐぬ花」の中に「ゆるはらす舟や にぬふあ星みあてい (夜走る舟は北極星を目当てにする)」という歌詞があります。この意味は、北極星という動かない星があることで、暗い夜でも舟は目的地に到着することができるということです。

私たちにとっても、北極星となるような安定した存在が必要です。小さな子どもは親を頼りにして生きます。親が子どもに対して、常に愛し続ける安定した心を持って接すれば、子どもも安定した心を持ちますが、親が不安定な心を持つと、子どもの心も不安定になります。

聖書では「幸いな人とは水路のそばに植わつ

た木のようだ。時が来ると実がない、その葉は枯れない。(詩篇1篇3節)とあります。幸せな人とは、自分を生かしてくれる方との関係をしっかり持つ人なのだと、聖書は教えています。

この世界で一番安定した心を持ち、皆さんを変わらずに愛して祝福してくださる方は神様です。神様は皆さんに対して「あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」と永遠の愛の心を持って呼び掛けています。

この神様との関係をしっかり持つことによって、私たちは安定した心を持ち、祝福を受け取っていくことができます。

Medical
Healthy
Recipe

夏バテ予防に!! アセロラ

北中城若松病院
管理栄養士 喜友名 幸

夏バテの3つの原因には ①自律神経の乱れ ②胃腸の働きの低下 ③水分不足があげられます。

これらの症状を和らげる作用のある栄養素が【ビタミンC】です！ ビタミンCには細胞が錆びないようにしてくれる作用、免疫力を向上する作用がありますが、一度にたくさん摂取しても、尿と一緒に排泄される為、毎回の食事でこまめにとることが大切です。

ビタミンCの多い果物といえば、『レモン』を思い浮かべる方も多いと思われますが、実は【アセロラ】はレモンの約34倍ものビタミンCが含まれています！！ 夏バテ予防以外にも、女性には嬉しいシミの生成を予防する効果もあり、日焼けが気になる方にもおすすめです。

生アセロラジュース

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| ● アセロラ 20個 (熟したものが良い) | ● 砂糖 小さじ1 |
| ● はちみつ 大さじ2 | ● 水 200cc |
| | ● シークワーサー 1個 (好み) |
- 【作り方】**
- ① へたと種をきれいにとる。
 - ② アセロラ、はちみつ、砂糖、水を入れてミキサーにかけます。
 - ③ お好みでシークワーサーを適量加えて出来上がり。



地域に密着した介護サービス

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

主任 平安名 常暢



小規模多機能ホーム若松ぎのわん（以下「当事業所」）は、地域に密着した介護サービスとして平成23年3月宜野湾市愛知に開所して、今年で9年目を迎えました。当事業所では、介護が必要となった高齢者が住み慣れ親しんだ地域で暮らせるように、「①通い」を中心に「②訪問」、「③泊まり」の三つのサービスを組み合わせて提供することが特徴です。

これまでの介護サービスでは、①から③のサービスを利用する際はそれぞれ別の事業所と契約し、別の職員がサービスを提供しなければなりませんでしたが、小規模多機能ホームでは三つのサービスを一つの事業所で提供でき、特に認知症をお持ちの方には、馴染の職員が三つのサービスを提供することで、混乱や精神的なご負担を少なくしてご利用頂くことができます。また当事業所では、ご家族の都合に合わせて送迎時間を組むことも実施しております。

当事業所で提供する「通い」サービスの中では、高齢者向け音楽療養コンテンツ機器を用いた健康体操で適度に体を動かした後に、ボウリング・輪投げ等の職員が工夫を凝らしたミニゲームが行われ活気ある時間を



過ごされています。

地域密着型サービスという事で、月に2回、当事業所の看護師が地域の公民館のミニディサービスに出向いて、地域のご利用者の方の健康チェックを行うなど、地域との交流も実施しています。また、宜野湾市内にある赤道と伊利原の両老人福祉センターで定期的に開催される「アガペ会健康講座」の中で宜野湾市とタイアップして「認知症サポート養成講座」も担当し、地域住民への認知症に対する啓発活動も行っています。

今後も地域のニーズに応えるように、十年目に向けてさらに職員一同頑張って参りますので宜しくお願いします。



家族もチーム医療の一員 ～家族の思いに寄り添いながら～

第3病棟(現第5病棟)課長 平良 盛人

第3病棟は、長期にわたり療養が必要な神経難病や脳血管障害、高度の意識障害や重度の身体障害の状態にある方が入院される特殊疾患病棟です。ほとんどの患者様は重度の全介助状態で、人工呼吸器が装着されている患者様もおられます。週1回の車椅子離床や月1回の外出支援を行っています。

ご家族より「車椅子離床の回数を増やせないか」との要望を頂き、病棟スタッフで検討をいたしました。何度か話し合う中で、ご家族の方もチーム医療の一員として、一緒に取組んでいけたら良いのではないかという発案から、ご賛同いただけたご家族に、移動用リフトの使い方に慣れさせていただき、病棟スタッフと一緒に患者様の離床を行っていくという取組みを開始しました。

まだ、始めたばかりですが、ご家族の方からは、好意的なご意見を頂いています。今回は、その一部を写真で掲載します。



新型コロナウィルス肺炎対策の為、面会制限を行っております。
詳細はホームページでご確認下さい。

介護老人保健施設 若松苑 理念

障がいや疾病を抱えながらも その人らしい生活がおくれるように
ご家族も共に支えていきたい

入院治療を終えた後たとえ、障がいや疾病が残ってもその人らしい生活がおくれるようにご家族も共に支えていきたいと思います

生活歴や価値観等を尊重したその人らしい生活がおくれるようにご家族、地域の方々、関係機関等と協力しリハビリと介護を提供し生活を支える医療と看護をチームで提供していきたいと思います

これからもできる限り、住み慣れた地域の中でその人らしい生活がおくれるように地域で支えあう、介護予防にも努めていきたいと思います



アガペ会ホームページでは
求人に関する新しいページ
「いつかはアガペ」を開設いたしました
<http://www.agape-wakamatsu.or.jp/afteragape/>